

## 第82回抗がん剤研修会（集中講義）参加者アンケート集計結果

開催日時： 2017年2月5日（日） 9：30～17：00

開催場所： 日本薬科大学 本部棟 311講義室

演題1 「抗がん薬基礎講座1（見落としてはいけない基礎知識）」  
草加市立病院 薬剤部 男鹿 宏和 先生

演題2 「抗がん薬基礎講座2（胃癌編）」  
上尾中央総合病院 薬剤部 土屋 裕伴 先生

演題3 「保険薬局における服薬指導（教訓から学んだ事例と介入）」  
埼玉伊奈店マツモトキヨシ薬局 芝崎 由美子 先生

演題4 「病院薬剤師における服薬指導（教訓から学んだ事例と介入）」  
彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 吉田 憲司 先生

特別講演 「外来・病棟におけるがん専門薬剤師の先進的取り組みやチーム医療」  
～がん薬物療法におけるリスク最小化活動～  
日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 宮田 広樹 先生

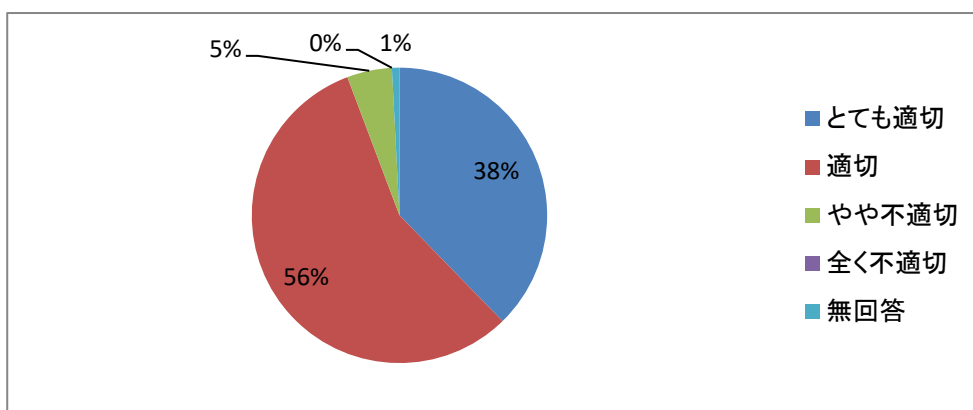
総合評点
3.4
(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり（枚）
122	122	100%	36

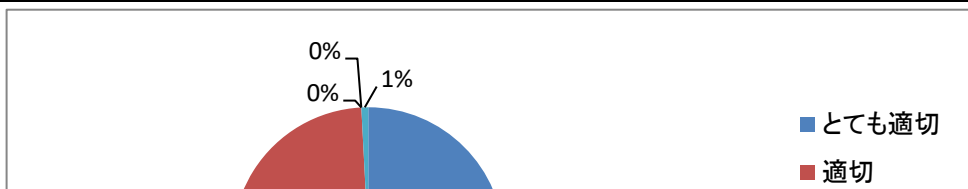
評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

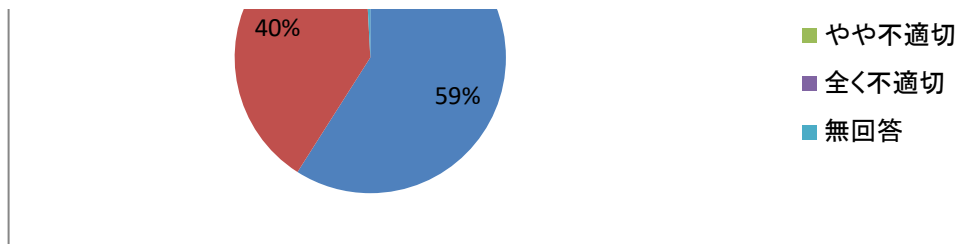
### 1. 講演テーマについて

1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	46	69	6	0	1	3.3

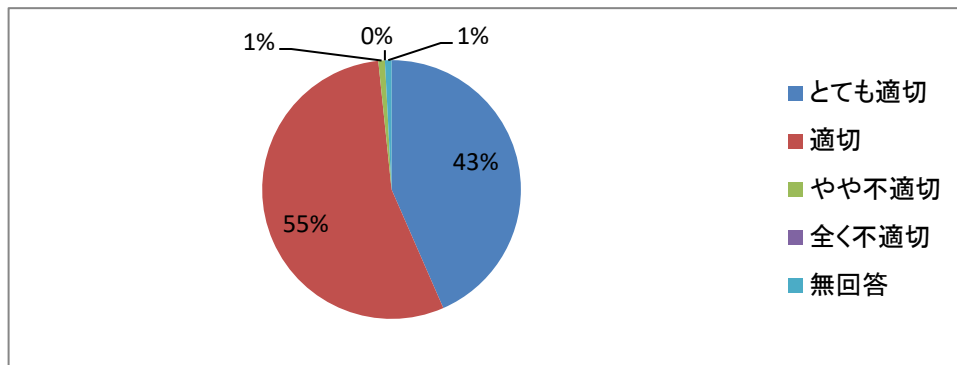


1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	72	49	0	0	1	3.6

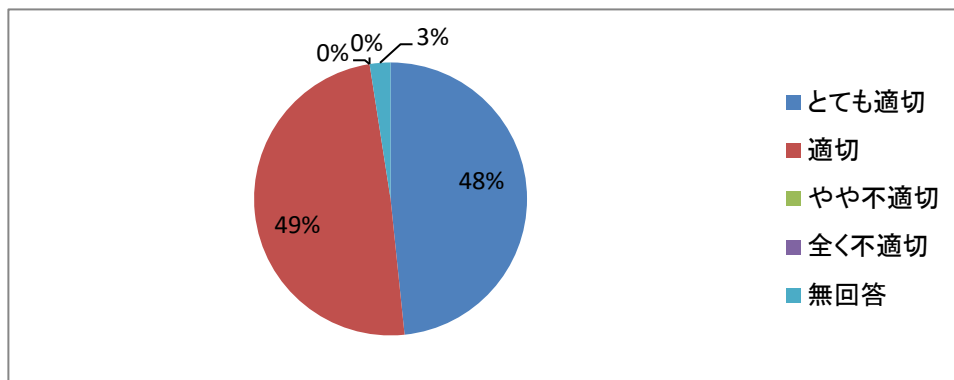




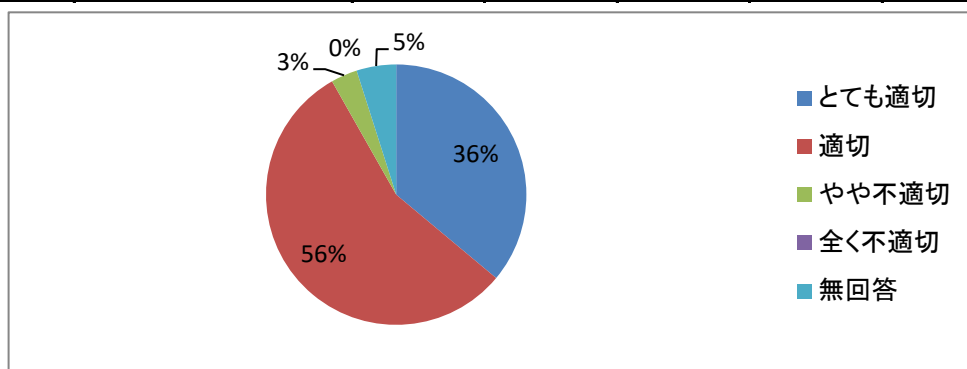
1-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	53	67	1	0	1	3.4



1-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	59	60	0	0	3	3.5

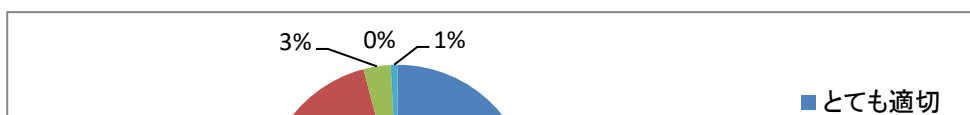


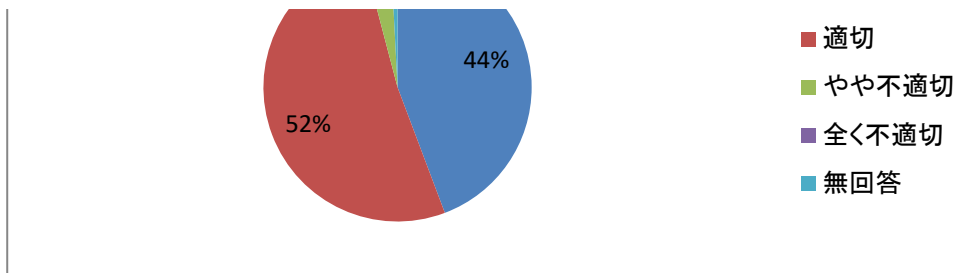
特別講演	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	44	68	4	0	6	3.3



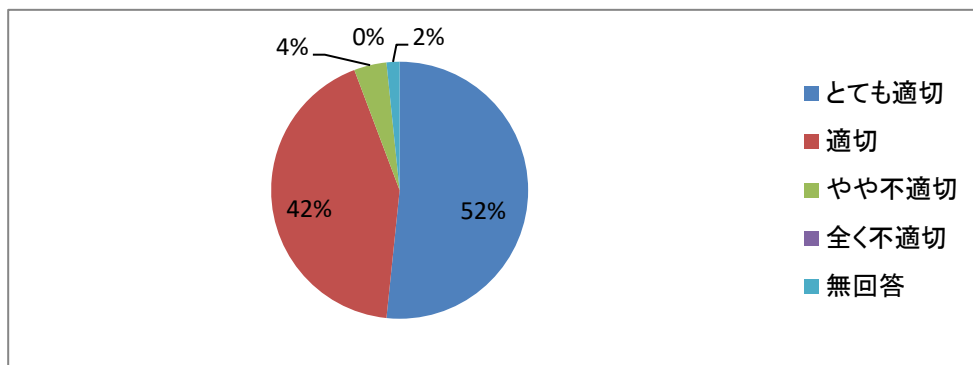
## 2. 講演内容について

2-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	54	63	4	0	1	3.4

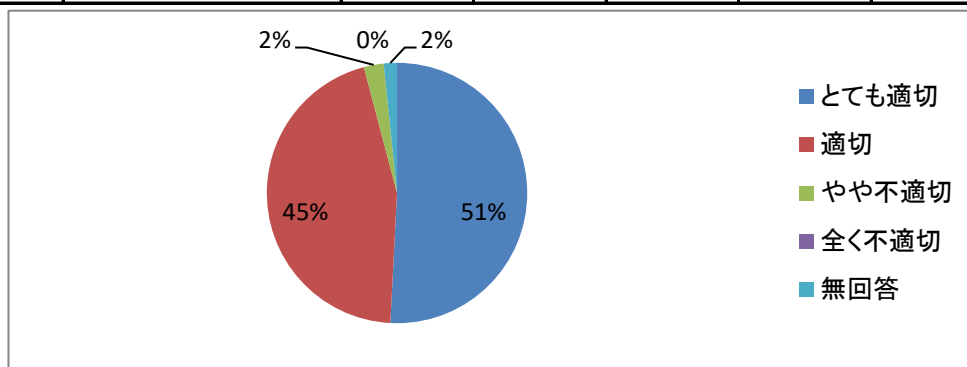




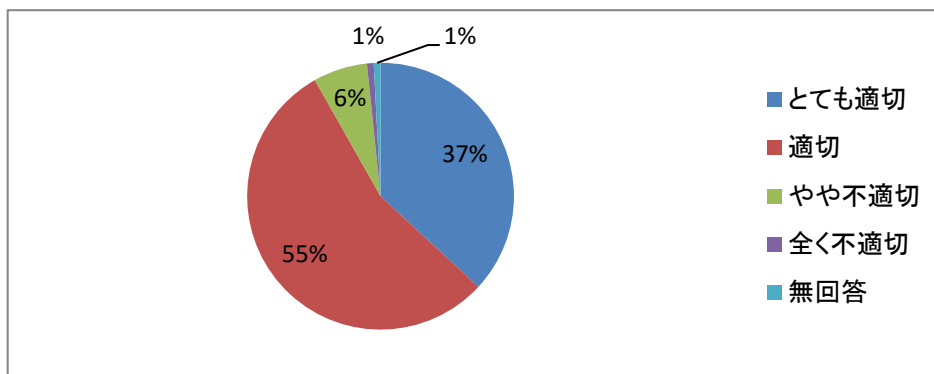
2-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	63	52	5	0	2	3.4



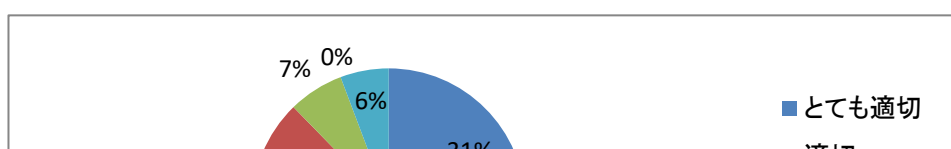
2-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	62	55	3	0	2	3.5

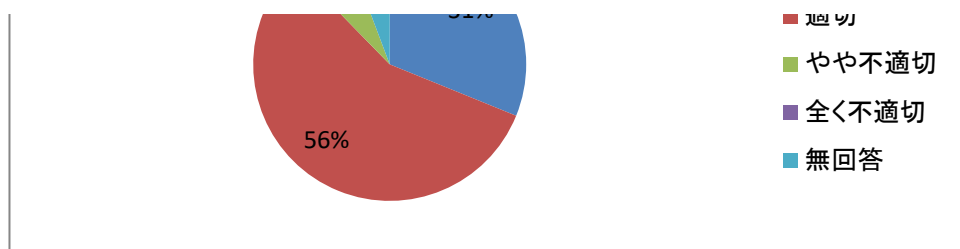


2-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	45	67	8	1	1	3.3



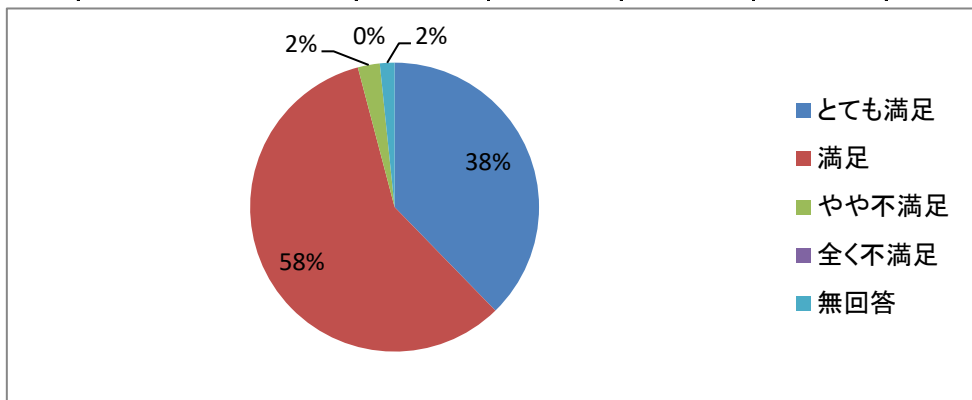
特別講演	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	38	69	8	0	7	3.3





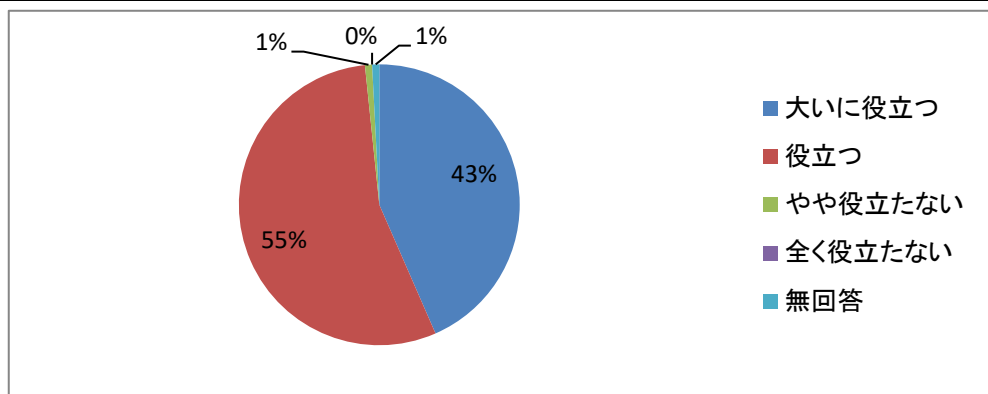
### 3. 本研修会の印象について

3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	46	71	3	0	2	3.4



### 4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	53	67	1	0	1	3.4



## アンケート意見（36枚）

### 2. 講演内容について

2-①	分かりやすかった	1
	内容が大学講義みたいだった	1
	普段、論文をみないため難しかった	1
2-②	分かりやすかった	1
	胃がんの治療方法が理解できた	1
	基礎知識不足だった	1
	略語が多く、途中で頭が混乱した	1
2-③	保険薬局の事がよく分かった	1
	スライドとハンドアウトが見づらかった	2
2-④	分かりやすかった	1
	自分の病院で扱わないがんの症例が勉強不足で難しかった	1
	勉強にはなったが伝えたい内容が分かりにくかった	1
	知識不足で理解ができなかった	1
特別講演	分かりやすかった	1
	費用対効果について勉強できてよかった	1
	難しかった	1

医療経済の分野が難解だった	1
普段の業務に活かせるのかは分からない	1
自分の知識不足だった	1
スライドがあったほうがメモが取りやすい	1
<b>4. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか</b>	
症例をもちいて実践的だったので大いに役立つと思う	1
<b>5. 今後取り上げてほしいテーマについて</b>	
婦人科がん	1
肺がん	1
リンパ腫	1
血液がん	2
薬薬連携	1
緩和ケア	3
前立腺	1
前立腺がん	1
腎がん	1
血液内科	1
泌尿器科の薬物療法	1
透析患者に対する化学療法の考え方	2
症例、事例、検討	1
在宅、訪問を行っている調剤薬局の取り組み	1
服薬指導	1
副作用	1
支持療法	2
化学療法後の副作用モニタリングポイント	1
薬剤提案のタイミング	1
分子標的治療剤の実状	1
臨床試験データを読み解くための統計学的知識	1
治療内容についての疑義照会事例	1
抗がん薬基礎講座2のような基礎的なもの、臨床的なものを増やしてほしい	1
がんという項目で1日研修会をやってほしい	1
がんに関わる薬剤師の業務の実際（スタッフとの関わりなど）	1
<b>6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望</b>	
大変勉強になった	2
視野が広がった	1
循環器の關病配置であり、がんに対する知識があまりなかったのも勉強になった	1
調剤薬局の先生の話聞いて勉強になった	1
基礎講座を聴講することで、化学療法の歴史から学ぶことができ、理解が深まった	1
ジェネラリストとして今後もがんについて、勉強していきたいと思った	1
症例を多く取り入れた研修会で基礎から学べたのでよかった	1
データの収集の仕方や患者さんとの接し方は、病院薬剤師としても活用できると思うので参考にしたいと思った	1
医療経済評価についての特別講演は大変興味深い内容だった。外来についても病院薬剤師として介入しているが、なかなか効果について表現しにくかったので一つの手段として使えると思った	1
クリニカルクエストや演者の先生方の経験症例を提示してくれたので、より臨床に基づいた知識を身に付けることができた	1
各講演会の間に休憩を設定していたので、どの講演も集中して聞くことができた	1
各演者の方の抗がん剤に対する視点が分かってよかった	1
薬局の薬剤師の先生から話を聞いて、とても有意義だった	1
症例検討を多くやってくれると非常に勉強になる	1
今後も症例検討が盛りこまれた研修会を期待したい	1
小児科・内科系統の処方箋を主に扱っている調剤薬局に勤めているので、滅多に抗がん剤を扱うことはないため、抗がん剤治療に関する知識のなさを痛感した	1
埼玉県では頓服が10回分と内容があったが、がん性疼痛風に対するオ	

ピオイドレスキューは、その制限が適応されないと支払基金に確認でき  
ている。倍量処方や内服処方では回数分を揃えると、誤って本当に倍量を  
服用してしまったり、レセプト上複数のオピオイドを併用してしまうこ  
とになってしまい、危険ではないかと感じた

1

日本薬科大学だと交通の便が悪い

1